

強震応答実験室 実験報告書「医療機器を免震化した場合の挙動確認実験」(2016/7/20, 21 実施)

1. 実験目的

医療機器を免震化した場合、免震化しない場合それぞれの強震時における挙動を確認する。免震化医療機器の強震時における保全性を確認し、免震医療機器の免震化手法を確立する。

2. 実験方法

試験体(オーソ・クリニカルダイアグノスティックス社製 全自動免疫生化学統合システム)は、免震試験体および非免震試験体の2種類とし、入力波は、2011年東北地方太平洋沖地震波(K-NET 仙台波)、1995年兵庫県南部地震波(JMA 神戸波)及び2016年熊本県熊本地震波(Kik-NET 益城波)とする。

3. 試験体

写真1に免震試験体、写真2に非免震試験体の状況を示す。

写真1 免震試験体



写真2 非免震試験体



4. 試験結果

図1に医療機器の応答加速度時刻歴を示す。免震装置の採用により、医療機器の応答加速度を低減できることが確認された。

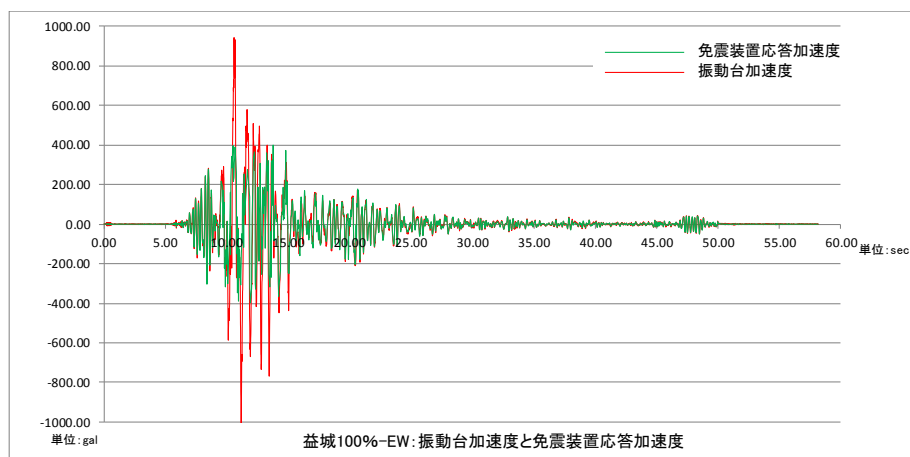


図1 医療機器の応答加速度時刻歴(Kik-NET 益城波入力時)